

太陽光発電所完成式（点灯式）

清里八ヶ岳興民館の太陽光発電設備の完成式が1月13日に開催されました。東京電力の御支援により運営されているグリーン電力基金の助成金を頂いて設置された、5.23kWの太陽光発電設備です。昨年の12月22日に完成して系統連系の手続きが行なわれていました。

今回参加されたのは、GIAC グリーン電力基金事業推進室長の小野塚憲治さん、北杜市長白倉政司さん、清里小学校長利根川健さん、八ヶ岳区長小清水元一さん他役員の皆様です。PV-Netからの参加者は代表理事の藤井石根さんと大友と世話人3名でした。



北杜市長の挨拶

はじめに太陽光発電設備設置までの経過報告概略が大友により説明されました。それに引き続いて北杜市長による挨拶が行なわれました。北杜市長ご自身も、太陽光発電の設置者で、その体験を中心にお話は30分にも及び予定が大幅に延びて終了となりました。



藤井代表理事の挨拶

午後2時ごろより、太陽光発電の点灯式が行なわれました。市長さんのはからいにより八ヶ岳区長さんにより行なわれました。そして式典は2時30分頃終了しました。



八ヶ岳区長（中央）による点灯



発電量表示を見る校長先生

次に発電所建設の収支報告です。

売電電力計の14,720円を経費に追加するようにGIACより御指摘を受けて修正した結果少し助成金が増加しました。

以下事業費の明細です。

総事業費	2,893,916円
基金助成金	2,459,000円
八ヶ岳区負担金	234,720円
山梨地域交流会負担金	200,196円
山梨地域交流会の今後のキャッシュフロー	
1月31日現在現金残高	4,442円
グリーン電力基金助成金	2,459,000円
八ヶ岳区から収入	220,000円
地域活動費残金	94,000円
世話人交通費半金	11,220円
立替え金	-2,800,000円
年度末予定残高	-11,338円
不足分は次年度に繰り越されます。	

北杜市白州町における小水力計画

農業用水路に小水力発電設備を設置して3kWの発電を行なう計画を検討しています。有効落差13m、毎秒40リットルの水量があり24時間発電が可能です。年間見込み発電電力量は約24000kWhで同規模の太陽光発電の6倍もの発電能力を有しています。設置費用は800万円ほどかかりますが、NEDOの2分の1の補助金がもらえますので、実質的な経費は400万円程度かかります。



北杜市の水力発電予定地

1月27日の理事会にこの計画について実施が可能か提案いたしました。結果は時期尚早と言うことでした。この計画の論点は次のような内容です。400万円の建設資金を借り入れして10年間で返済するという計画です。毎年メンテナンス費用や金利分も含めて50万円程度の返済が必要です。東京電力への売電収入が年間20万円、グリーン電力証書の収入が20万円見込めますが、10万円ほど足りません。そこでその不足分を地域交流会活動費から捻出する計画です。その事に対する異論が多数意見でした。

今回の小水力発電の問題は、会員からの会費3000円の使途問題のようです。現在の会員数では、会費で会の財政を維持する事は出来ませんが、将来会員数が1万人に増えた場合を想定してみます。3000万円の会費収入のうち2000万円を事務局経費・会報・ホームページの維持管理に使用します。残りの1000万円を地域交流会活動費に使用します。この地域活動費の半分を新たな発電所の建設費に利用するとすれば、何と5倍の2500万円の発電所を毎年造れる計算になります。もし理事報酬で分けてしまえばそれでおしまいです。事務局で仕事をされている理事さんもうらっしゃいますが、その場合には事務局経費

で報酬を支払えば済むことです。

昨年、会から寄付の依頼があり困惑されて方もいらっしゃると思いますが、例えば小水力発電所の建設費として寄付を集めると言うことであれば状況は違うと思います。

会員の皆様、会費の使われ方について御意見をお知らせ下さい。会費の振込み用紙に御意見をお書きくださってもけっこうです。

山梨地域交流会が銀賞を受賞

12月2日に東京で開催された、全体イベントの地域活動コンテストで銀賞を受賞しましたので報告いたします。



地域活動の展示

FM八ヶ岳に出演しました

昨年開局した北杜市のコミュニティ FM 局・FM 八ヶ岳で、北杜市を中心として活動するボランティア・NPOを対象として「日替わりオープンカレッジ」という番組を放送しています。2月13日放送分に出演しました。収録内容は、会の活動内容の紹介や今後の予定についてです。



FM 八ヶ岳での収録の様子

ニュース発行 山梨地域交流会 大友 哲
連絡先 電話・fax 0551-48-3822